

小規模多機能型居宅介護 サービス評価 【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 8 日 (16 : 30 ~ 19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	1		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	2		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	6			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	4	1		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始時の情報を基にケアの中で知った情報を、申し送り、記録等で共有している。
- ・訪問にてゆっくり会話し本人のニーズ等確認している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・関わっていく中で知ること出来るが、最初の聞き取りがやや不十分である。
- ・申し送りの漏れや、確認不足がある。
- ・業務の合間をみてのミーティングがなかなか出来ない。
- ・帰りたい、家で過ごしたいの希望に添えていない。家族も対応できていない。
- ・本人の訴えが理解できないことがある。
- ・家族の関わりが少ない所があり、介護に関する考えなど聞く機会が無い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・新規の聞き取りは出来るだけ二人対応をして少しでも多くの情報を得るようにする。
- ・関わりの中で聞き取る努力とそれを「私の暮らしまとめシート」などに記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 8 日 (16 : 30 ~ 19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	5		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	2	4		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	2	4		10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	2		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日頃のケアの中で聞き取ったり、状態や、気持ちの変化を記録し共有している。
- ・家で 1 人で過ごしたいという目標を、電話や訪問などで関わり、支援できている。
- ・本人の希望に沿って、帰宅やドライブ、買い物など満足行くように支援できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所内での本人の～したいの対応は出来ているが、自宅で～したが出来ないことがある。
- ・年齢と共に体力弱り、認知症も進んでいる為、考えも不安定であるので支援が難しい。
- ・ゴールとしての目標を確認しあえて居ない。変化に応じた対応が中心になっている。
- ・会話での表現が困難な為、理解することが難しい時がある。
- ・利用者との対話がじっくりできない。
- ・1 人の人にずっと付き添えない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・業務が忙しくても利用者優先にし、まず理解しようと努力する。
- ・ささやかな～したいからでも実現し本人の満足度を共感できるようになる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 8 日 (16 : 30 ~ 19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	8		10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	4		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	4	2		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・帰宅願望や気持ちが不安定な時、訪問、ドライブなどで気分転換が来ている。
- ・体調や、気持ちの変化等、申し送りや記録などで話し合い、共有している。
- ・入浴、食事など本人が拒否する場合は、時間を置いたり、場所を変えたりして対応している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・経験の未熟さで、利用者の気持ちを上手く受け止められていないときがある。
- ・10 個以上の「以前の暮らし方」を言えない。せめて 5 個くらいである。
- ・友人、家族、知人の関わりを増やすことが出来ていない。
- ・本人希望のレクリエーション (～したい) が出来ていない。(準備不足)
- ・情報を見てはいるが、把握できていない。共有は出来ているが支援が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・「以前の暮らし方」を各自 10 個以上みつける。
- ・訴えの少ない人の関わりを密にして心の声を聞く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 8 日 (16 : 30 ~ 19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	5		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	3		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	5	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	6	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域のひろば事業を通して関わりがある。
- ・家族、地域との関係が切れないように、変化時や希望時、必要時連絡をとっている。関わりの薄い家族には促している。
- ・近所、知人から昔の話を聞いている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・在宅の方の 1 日の生活状況は把握できていない。
- ・近所の方々との関わりを把握していない人が多い。
- ・ニーズの強い方は民生委員との連携をとっているが数は少ない。
- ・地域の資源の活用は殆ど出来ていない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・最初の聞き取りに近所や、民生委員、自治会などを入れ込み、地域でどのように暮らしていくかを皆で考え合えるようにする。
- ・

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 8 日 (16 : 30 ~ 19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5	2		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	1	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	4			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	4	1		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々の記録にてチェックし変化に気をつけている。
- ・泊り、訪問、を適時変更、追加している。
- ・帰宅願望など家族への連絡をしている。
- ・医療、訪問看護、福祉用具など個人に合った支援を行っている。
- ・地域の資源を活用している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所のみへの対応が多い（地域、知人の資源の活用が少ない。）
- ・最初の段階で地域、知人を含めた支援の形成が出来ていない。
- ・本人の気持ちより、家族の要望を優先することがある。
- ・記録からの気づきがみられない。
- ・「帰りたい」という人に色々なことを試みるが上手くいかないことが多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・聞き取りの段階で、今までの本人の活動や、知人との交流関係をしっかり聞き取る。
- ・変化に気付く目をもち解る様に記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 8 日 (16 : 30 ~ 19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	2	3	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	3		4	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	4	2	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	2	2	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ イベントなどに参加している。
- ・ 「気軽に立ち寄りやすい」との声がある。
- ・ イベントに地域の方や、園児などが参加している。
- ・ 苦情は即対応し、申し送りやミーティングでそのつど話し合っている。
- ・ 運営推進会議を開催し参加している。
- ・ 地域のお祭りや行事に参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 小、中、学生や若い層の来所がない。
- ・ 他の事業所との交流が少ない。
- ・ 地域ケア会議への参加要請があったが今は無い。
- ・ 退院時などカンファレンスに参加するが、少ない。
- ・

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ 運営推進会議にスタッフ 2 名参加できるようにする。(今までは 1 人だった)
- ・ 小、中学校との連携をとっていく。(ボランティアの受け入れなど)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 14 日 (16 : 30 ~ 18 : 00)

7. 運営

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		7	1	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	2		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	2		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員会議、ミーティングで意見を出している。
- ・地域の自治体に参加、回覧板、有線放送利用している。
- ・苦情は余り無いが些細なことでも即対応している。
- ・苦情は助言として受け止め、言いやすいようにし、即対応し改善している。
- ・地域のイベントに積極的に参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・意見を言う場が無い。
- ・地域からの苦情があるか、無いかが解らない。
- ・自分に自信が無いので意見を言えない。
- ・地域と協議した取り組みかはわからないが、自治会に参加して協力できることはしている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・解らないこと、疑問に思うこと、話し合いたいことを職員会議やミーティングで提案できるように、ミーティングの進行係りなどを職員で行ってみる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 14 日 (16 : 30 ~ 18 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		2	4	4	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			6	4	10
③	地域連絡会に参加していますか			6	4	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	3	4		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・リスクに関しては事故報告書記入し皆で改善策を話し合っている。
- ・自分で気になることは調べたりしている。
- ・朝の申し送りで問題点など出し話し合っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・個人の状況に応じた外部研修が出来ていない。(業務の都合などの為)
- ・個別に研修計画を立てているが、実行できていない。
- ・リスクに対して話し合っているが全体での取り組みが足りない。(個々の理解度が低い)
- ・年度初めは資格を取ろうとしたが勉強不足で諦めた。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・自己研修は計画倒れにならぬよう、外部研修も含めて発表の場を設ける。
- ・事業所内・外の研修を建て直し実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 14 日 (16 : 30 ~ 18 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 竹之下 小川 大村 岩下 榎 宇治野 笠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5			10
②	虐待は行われていない	7	3			10
③	プライバシーが守られている	5	5			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	2		4
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	5			9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 尊厳を重視したケアを行っている。プライバシーも守っている。
- ・ 拘束や虐待はしていない。
- ・ 言葉使いは特に気をつけている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 言葉は受け取り手の解釈があるので十分な配慮が必要、時に上から目線になることがあるようだ。
- ・ 職員の気分や、体調により声掛けが違うことがある。
- ・ 「帰りたい」と言う利用者に対して釣れて帰れず、気分転換をしているが拘束になるのか解らない。
- ・ つい「トイレさっき行ったでしょ。さっき家に帰ったでしょ。」と言ってしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ 身体的な拘束、虐待はないが、言葉によるものが知らない間にあるようなので、再度言葉による虐待や拘束について話し合い、確認しあう。

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

地①-1

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない

0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・経験不足や自信が無いという人に対しては、内容をよく理解できるように説明して欲しい
- ・介護の仕事は経験が必要。何でも進んで行うことが大切だが、最初は丁寧な指導が必要。
- ・皆で意見を出し合い、同じ気持ちでの介護ができていると思う。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・プライバシーの問題もあり、経験の浅い職員は2人で聞き取りしたほうが良いと思う。本人が述べたことと、本音が異なることもあると思うので要注意である。
- ・「私の暮らしまとめシート」のようなものを上手く活用して、本人にあった介護をして欲しい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・リーダーの「こうりたい！」が実を結ぶ為には各個人の声を聞く事が大切。「言ってもいっしょ！」にならないよう、声を出しやすい環境を作り、前進に繋がることは取り上げて実行する。
- ・企業は資格取得の為に研修を受けさせたりしている。色々な研修への参加することも大事
- ・介護職は給料が低いと聞くが、職員の「やる気」を引き出す為には給料を上げることが必要。
- ・利用者の～したいを実現させる為には業務より、利用者優先と言うが、人手が足りないと聞くが、業務内容の見直しなども必要ではないか。

【改善計画】米印後日記入

- ・地域での暮らし方の情報が不足しているので、プライバシーを守りながら地域の方々からの情報を集め、今までの暮らしが継続できるようにする。
- ・利用者の気持ち、行動等の変化に気付けるケア、問題を抽出し改善できる力を持つ為に、連携の取り方、記録の仕方、ケアの方法など、スキルアップする為に、研修を行う。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所に入ったとたん、利用者の明るい笑い声や、話が聞こえて、楽しんでいる様子が伝わる。
- ・利用者がいきいきしている。
- ・小規模多機能ホームが地域にとっては必要だと聞いていたが、近くにできてよかったと思う。

【前回の改善計画】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・今後、総合事業に移行するに当たり、社会資源の活用が必要。そのような意味から考えると、小規模多機能ホームは地域に必要な存在である。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・地域の方がいつでも遊びに来れる空間を作る為に、事業所内の利用者との関わりや、事業所の環境整備を継続して行う。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	職員はあいさつできていますか？	5		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 子供を入れたイベントを行って欲しい。子供が来れば母親も集まると思う。
- ・ 体調の悪い人に電話で声かけたり、時には訪問して下さり、嬉しいです。
-
- ・ ここ1～2年、敬老会や自治会の行事参加が出来ていません。認知症があったり、足腰が悪いと、参加時はスタッフに同行してもらう必要があるので声かけていません。

【前回の改善計画】

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・ 田口地域を中心に、「地域のひろば事業」に参加して、楽しく交流が出来て居ます。一言言葉入りの年賀状が届いたり、町で声をかけて下さったり、地域の中に根付いた事業所だと感じます。
- ・ 地域の方の心配事を把握しきっていますか。：すべては無理だが、関わっている方々が相談しやすいように、関わっていく事が必要であり、プライバシーの問題もあるので、本人以外から情報を得ても、本人の口から聞けるように関わっている。

【改善計画】※後日記入

- ・ 年2回の保育園児との交流はあるが、小学生、中学生との関わりがないので、てのむ会や学生参加の地域のイベントを知り、参加する。
- ・ 敬老会のイベントなど事前に情報を得て、スタッフ同行で参加できるようにする。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スタッフも利用者も、地域の行事に参加して下さり、イベントへの参加者が減少している今、20名くらい参加して下さり、盛り上がります。
- ・自宅に居ると、花見や、ドライブなど行かないけど、事業所であちこち連れて行って下さり、喜んでいます。
- ・運営推進会議では利用者の今の状況の相談や、説明などがあり、協議している。

【前回の改善計画】

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・今までは事業所に呼ぶことが多かったが、最近は頻繁に外出している。地域の方々も、久しぶりに友人に会い元気な姿を見れることが、自分の将来もこうありたいと、思ってみておられる。
- ・小規模多機能ホームのサービス内容がすこしずつ、地域の方々に理解されて来ているようだ。

【改善計画】※後日記入

- ・地域に出かけて色々なイベントに参加しているので今後も継続していく。
- ・利用者の状況は運営推進会議では協議しているが、住んでいる地域の自治会や民生委員との関係が希薄なので今後連携をとるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・民生委員や地区の人とよく協議していると思う。
- ・運営推進会議で、利用者の情報や支援の方法など協議している。
- ・

【前回の改善計画】

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進委員や自治会と協賛し、徘徊模擬訓練を実施した。霧島の他事行所や社協、役場警察、消防と皆が自分のことのように意欲的に関わり、地域の持つ力の偉大さを感じた。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議の参加人員を固定化しすぎているので、無いようによっては、他の自治会や、民生委員なども招いて、地域での利用者の生活についてはなしあってみる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・以前2回ほど炊き出し訓練と夜間の火事の訓練には参加したが、此処1~2年無い。
- ・防災計画は知らない。

【前回の改善計画】

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・水害や地震など1人暮らしの方は特に夜間不安になるが、そのような時に「とまりに来てもいいですよ。」と声かけてもらえて、安心です。子供は離れたところに居るので、急な時はお世話になりたいです。

【改善計画】※後日記入

- ・地域への防災訓練の声かけや、防災計画の提示を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 恵愛会	代表者	坂元 一久	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関を開けた途端、元気な笑い声の響く、来る人誰もが雰囲気が良い！！と言って下さいます。利用者様の「～したい」を実現する為に、1人1人に寄り添って、出来ることを奪わない支援をモットーに、皆様と楽しく生活しております。 ・地域のひろばとして、地域との交流を月2～3回行い、地域の方々が20名近く参加されます。映画鑑賞、マッサージ、料理教室、演芸会など一緒に楽しんで居ます。 ・まちかど相談所として、地域の方々の相談も受けております。
事業所名	小規模多機能ホーム 一休庵きりしま	管理者	竹之下 幸子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの「こうありがたい！」が実を結ぶ為には各個人の声を聞く事が大切。「言ってもいっしょ！」にならないよう、声を出しやすい環境を作り、前進に繋がることは取り上げて実行する。 ・企業は資格取得の為に研修を受けさせたりしている。色々な研修への参加することも大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での暮らし方の情報が不足しているので、プライバシーを守りながら地域の方々からの情報を集め、今までの暮らしが継続できるようにする。 ・利用者の気持ち、行動等の変化に気付けるケア、問題を抽出し改善できる力を持つ為に、連携の取り方、記録の仕方、ケアの方法など、スキルアップする為に、研修を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・今後、総合事業に移行するに当たり、社会資源の活用が必要。そのような意味から考えると、小規模多機能ホームは地域に必要な存在である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方がいつでも遊びに来れる空間を作る為に、事業所内の利用者との関わりや、事業所の環境整備を継続して行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・子供を入れたイベントを行って欲しい。子供が来れば母親も集まると思う。 ・体調の悪い人に電話で声かけたり、時には訪問して下さり、嬉しいです。 ・ここ1~2年、敬老会や自治会の行事参加が出来ていません。認知症があったり、足腰が悪いと、参加時はスタッフに同行してもらう必要があるので声かけていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の保育園児との交流はあるが、小学生、中学生との関わりがないので、てのむ会や学生参加の地域のイベントを知り、参加する。 ・敬老会のイベントなど事前に情報を得て、スタッフ同行で参加できるようにする。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフも利用者も、地域の行事に参加して下さり、イベントへの参加者が減少している今、20名くらい参加して下さり、盛り上がります。 ・自宅に居ると、花見や、ドライブなど行かないけど、事業所であちこち連れて行って下さり、喜んでいきます。 ・運営推進会議では利用者の今の状況の相談や、説明などがあり、協議している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出かけて色々なイベントに参加しているので今後も継続していく。 ・利用者の状況は運営推進会議では協議しているが、住んでいる地域の自治会や民生委員との関係が希薄なので今後連携をとるようにする。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地区の人とよく協議していると思う。 ・運営推進会議で、利用者の情報や支援の方法など協議している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の参加人員を固定化しすぎているので、内容によっては、他の自治会や、民生委員なども招いて、地域での利用者の生活についてはなしあってみる。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・以前2回ほど炊き出し訓練と夜間の火事の訓練には参加したが、此处1~2年無い。 ・防災計画は知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への防災訓練の声かけや、防災計画の提示を行う